

資料8 推定所要時間計算用紙

社会福祉施設及び病院の夜間体制指導マニュアル推定所要時間計算用紙

名 称 ()

バルコニー避難 ()

1 R_tの算定

		出火区画	同一階の隣接区画(1)	同一階の隣接区画(2)	上階の隣接区画
自力避難 可能者	避難開始時間(a)				
	避難完了時間(b)				
自力避難 困難者	避難開始時間(c)				
	避難完了時間(d)				
E ₁ = (b) - min { (a), (c) }					
C = 自力避難困難者の (実在者) / (参加者数)					
E ₂ ' = (d) - (c)					
D ₂ による ※次表Dの算定を参照					
E ₂ = C · E ₂ ' + D					
E = max { E ₁ , E ₂ }					
V = min { (a), (c) }					
R _t = V + E					

2 Dの算定

D'	(c) - (a)				
----	-----------	--	--	--	--

(1) 自力避難困難者を出火区画から順次避難させる場合

D	= D' _f	= (C _f - 1) · E ₂ ' _f + D' _n	= (C _f - 1) · E ₂ ' _f + (C _n - 1) · E ₂ ' _n + D' _u

(2) 自力避難困難者を各区画一斉に避難させる場合

D = D'				
--------	--	--	--	--

(3) 自力避難困難者を階ごとに順次避難させる場合

D	= D' _f	= (C _f - 1) · E ₂ ' _f + D' _n	= D' _u

(注)

- f、n、uの記号は、それぞれ出火区画、同一階の隣接区画、上階の隣接区画を示す。
- min { (a), (c) } は(a)又は(c)のうち小さい方の値、max { E₁, E₂ } はE₁又はE₂のうち大きい方の値を示す。
- | (c) - (a) | は(c) - (a)の絶対値を示す。
- 同一階の隣接区画が2以上存する場合は、それぞれR_{tn}を算出し、最も大きい値を最終的なR_{tn}とする。